

『【報告】とある未解決事件について』の最終回結末に関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『【報告】とある未解決事件について』の最終回結末に関するアンケート調査
調査対象	『【報告】とある未解決事件について』を読んだことのある10代～50代の男女4名
調査期間	2026年1月14日～2026年1月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/houkoku-toarumikaiketuzikennituite/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『【報告】とある未解決事件について』の最終回の結末を予想してください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	1人
30代女性	0人
40代男性	1人
40代女性	1人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2: 『【報告】とある未解決事件について』の最終回の結末を予想してください。

事件の真相を怜が暴いたものの、その瞬間犯人に襲われて怜と犯人は相打ちに。真相が公表されることなく終わるのではと予想します。では犯人は誰かということですが、江崎らんではないかと考えています。実の兄が被害者だったとはいえ、いまだに事件現場へ行くということに違和感覚えしました。兄に対して何等かの執着

を持っていそうなんですよね。そして充士郎の書いた一つ目の化け物って、江崎らんをさしているようにも思います。髪質と髪色は同じですし。現時点だと動機まではわかりませんが、江崎らんが一番怪しいように感じました。

K市一家殺害事件の犯人は、充士郎だと思います。理由は、劣悪な環境にひたすら怯えて耐えていたわけではなく、巧妙に手の込んだメッセージを残していたという点から、充士郎には子供らしからぬ行動力があつたと判断できるからです。精神的に限界まで追い詰められた彼が、苦しみの元凶たる両親を亡き者とし、絶望して自らの命も絶つたのではないかと考えました。また栗栖は、1巻で怒鳴られていた時のように「確固たる証拠が出なかった」という理由で、突き止めた真相を記事に書かないのではないかと予想します。そのせいでまた怒られて、次こそ話題になるスクープ記事を書くために、別の未解決事件の取材へ赴く……といった結末を迎えるのではないのでしょうか。

身近にいる人ほど怪しい、というのがミステリーの王道であり、この作品も結末は身近な人が犯人で全てを告白するのではないかと思います。一緒に調査をしていることで現場におけるミスリードも可能であるし、宗一郎とも関係がある人間というだけで怪しい。おまけに記事にしないよう栗栖に提言していることから、真犯人なのではないかと考えます。

現在、最新は4巻までとなっており、最終的な結末までにはまだ必要な情報は揃い切っていないとも言えます。その上で犯人を予想するならば、少なくとも推理サスペンスというコンセプトを考えれば、最終回近くになって真犯人が登場するという可能性は低いでしょう。なので既に登場している人物が犯人である可能性が高いと考えられます。現在登場しているのは、主人公を除くと6人。ですが、被害者を除いた3人にはどれもアリバイや動機が薄く、たとえばダイイングメッセージとも言える「アイコ」から想起される愛子の存在などは、あえてミスリードを誘いにいっているように見えます。そして次々と明かされていく家庭内の凄惨さや、4人目の家族の存在？を考えると、実は犯人は身内にいるのではないかとこの予測もできます。ここで思い浮かぶのはズバリ、虐待されていた充士郎が、この事件を起こしたのではないかとこの想像です。もっとはっきり言うならば、充士郎自身がまさにこの事件の真犯人なのではないのでしょうか。4人目は虐待された充士郎が生み出した別人格。つまり充士郎は二重人格で、その人格がこの虐殺を実行したのではないかと予想します。最後にこの悲惨な結末を知った主人公は、あまりの凄惨さに記事にはできず、この事件を封印するのではないのでしょうか。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス